平成 30 年 10 月 15 日 名古屋市長河村たかし 定例記者会見
(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

<https://www.youtube.com/watch?v=6XCetVz5Mw8>

- ・ 10 月文化審議会には間に合わなかった。
- ・ 文石協（文化財石垣保存協議会）の専門家から石垣保全についてアドバイスを受けるよう、石垣部会に言われた
- ・ 文化庁 誰とは言わないが、「国宝第 1 号なので丁寧にやっけていかないといけないと言っている」
- ・ 2022 年 12 月期限は死守する

記者：理由は

河村市長：石垣北面はらんでいる 結論が出なかった。

石垣部会から提言があった。

石垣部会ではないある専門家「なかなかええ。ここまでやってきた」

名古屋市民の熱い民意がある

文化庁にも繰り返し伝えた

記者：2022 年 12 月に間に合わせる具体的スケジュールは

河村：提言が出たのははじめて。

文石協で相談・アドバイスを受けながらやって、という提案。

どうするかという段階。話しが始まったところ。

中日：北面ハラミ 文石協から助言をもらおうということか

河村：そう。そこだけじゃない。全体に 広いですから

他にも空襲で焼けたあとがある

中日：石垣部会も有識者会議

そこではなく文石協のアドバイスを受ける、というのを説明を

文石協の方が石垣危険性の方が具体的に指摘できるのか

河村：そうだと思う。石垣部会から言われたこと。

石垣部会と文石協、どういう風にやられるか

いっしょになって進んでいくことに

中日：文石協からアドバイスをしてよいという話しが来ているのか

河村：それはそう

どういう風にやっていくか協議をしないといけない

中日：早急にアドバイスを求める。数日中にもか

河村：数日中にできるかわからんが、できれば

いままで長いことやってきた

常に文化庁に報告してきた

ゼロからはじめるのではない

中日：文化庁文化審議会 次回は来年5月 そこを目指すのか

河村：それはわからない。なるべく早く

柔軟にやってちょう

イエスもノーもない

中日：それより前

河村：早く、「民意」ですから

強い

耐震は非常に低い

石垣は耐震強度をはかるテクニックは無い

1年に1億かかると聞いた 木材の保管

市民の負担を減らさないといけない

はやく入れるようにしないと。地方自治法にしたがって収入を得るように

いつまでもほかっておくことはありえない

耐震強度がないから閉鎖 看板に書いてある

お客さんは危なくないが、工事やっている人は危なくないのか

文化庁もいっていた「名古屋城は素晴らしい城。

空襲で焼けたお城8つ 全部コンクリート。

それぞれ50-60年。重要なステップ。丁寧にやっていく」

中日：はじめて石垣部会から提案があったと言われた
協議は続けてきた。
進展につながるような建設的な助言がでたのはなぜか

河村：こういう風にしたらどうかというのははじめて
名古屋市側から調査 どうですかとだした
文石協もお手を煩わせるが動いていただけ

朝日：10月間に合わなかった場合、22年末完成スケジュール
具体的にいつの許可を

河村：なるべく早く

朝日：5月審議会 半年に1回
5月と言えないのか

河村：それはわからん なるべくやってもらわないといけない

朝日：5月に取れない可能性もあるのか

河村：そんなもん答える気にもならない

朝日：5月を逃すと22年末は事実上無理と言われている

河村：わからない

朝日：そこをはっきりさせて

河村：わからない 全力投球

朝日：10月間に合わせる→できなかった
22年末 根拠を示さなければ

河村：文石協との話し

朝日：文石協はいつアドバイスくれるかわからない

アドバイス内容が、石垣保全を優先します、と言うことになった場合、
すぐに出来ない

河村：最悪のシミュレーション できることを願っているよう
そうでないシナリオもある
相当調査をして、そこそこではある
僕はそう思う
丁寧にやらないと行けない 文化庁からもお話がある
一方民意も大きいですよ 民意というもの
国の文化財 かつて国宝第1号
市民の熱い情熱がかかっている

朝日：10月許可 昨年の基本協定のころから出されていたスケジュール
市長は一貫して間に合わせると言っていた。
できなかったことへのご自身のお気持ちは 信念の説明を

河村：もちろんむかっている

朝日：むかっている

河村：残念だといったほうが丁寧かもしれない
市民の皆さんの熱い熱意がある
もっと早く 文石協 1年半くらいかかっていた
大分違っている
あんまりいうと いわん方がいといわれている
ベストを尽くしたといった方がええ
名古屋市としての意見をはっきり言いなさいと。
このレポートでどうですか
文石協で進めていきましょう

朝日：むかつくというのは石垣部会に対してか

河村：世の中とといいますか

朝日：手続を進められなかったのは名古屋市の責任ではないのか

河村：どの責任というわけでもない

しょうがない 世界でただ一個のこういう建物を作るんだから

世界ではじめて 巨大な木造建築

国宝1号

木造復元するんだから 苦労はある

世の中の一つの流れ

名古屋の宝が世界の宝

朝日：2022年末 完成するのは難しいと言うことになるよね

河村：そんなことはない

朝日：そこを少し緩やかに考えられないか

河村：文化庁だって言っています。

「遅らせるつもりはありません」って。

直接電話ですけど

行く時間が無いもんで。誰とはちょっと言いにくいけど

偉い様が断言しております。

スケジュールありきどうのこうのいうのではない。

ただやっぱり国宝1号 名古屋のお城が素晴らしいお城だで

そこからいろんなところ発展というのかな、これ

何で暮らすのみんな。

コンクリート復元のところみんな同じ寿命を迎えていますから

丁寧にやっていただきたい、そういうことですわ

丁寧にやらさせていただきますよと。

一方、強い民意があることは忘れんで下さいよと。これは

名古屋市民の熱い心、熱き心があるやつをねえ。

朝日：具体的に聞くと、石垣部会の上承がないと申請が出来ない状況じゃないですか。

文石協の助言を受けた上で、その助言内容を基本計画に反映した上で

部会に見てもらって上承を得る、手続に入るでよろしいでしょうか。

河村：しらんけど別に法律の手続上ではないけれども、

文化庁もいっているようにそれだけ大事なもののなのだから、

地元の手続き的なものをしっかりしてくださいよと。

石垣部会からのご指名というかアドバイス
よう努力してやっていただけると思いますけどね。

朝日：手続 通常だと復元検討委員会に3回かかってから文化審議会と
言われていますが、いまから3回の復元検討委員会はあるのでしょうか。

河村：それは頼みました。

朝日：頼んだ

河村：ノートもイエスとも言わない

朝日：文化庁に復元検討委員会に期待することは

河村：柔軟にやって欲しい

朝日：復元検討委員会なくとも文化審議会にかけれるようにしてください

河村：いやいや、復元検討委員会は普通はかけないといけない
柔軟にやって欲しい こちらも丁寧にやるから
熱い民意がありますよ

朝日：回数を減らすことも視野に入れて下さいということか
複数かけるのが普通ですよ

河村：それはわからん
誠意を持ってやる

朝日：柔軟の意味がよくわからない

河村：物事の申込があったときに柔軟にやる いろいろあります
文化庁 そういうことでしょう。
日本の宝をみんなで作っていく 文化庁は賛成でしょう。
国民の財産を増やしていく そう思いますよ私

毎日：文石協からアドバイスいただけそうといっているが、

日程は決まっていないのか

河村：日程は決まっていない

毎日：かなり前から言っている

河村：石垣部会のみなさんからアドバイスをいただいてから

毎日：少なくとも1か月前くらいから

河村：1か月位前から

名前言っちゃいかんと言うからだまっとった

毎日：日程が決まらないが助言が得られそう というのはわからない

河村：文石協で話し合ってもらいたい

メンバーから直接聞いた

毎日：助言を得られる日程 文石協が来るのか

河村：わからん

毎日：スケジュールが曖昧であり続ける できるのか

河村：俺が担当なら毎日のように行きますわ夜

毎日：直近の文石協のアドバイスはどのようなものでいつまでか

河村：どういうセクションか議論されているよう

毎日：近々得られそうというのはどのようなものか

河村：決まっていない 原案になるようなものはある

毎日：市の調査

河村：市の調査 それにいろいろ
丁寧に対応する

毎日：「文化審議会に諮られませんでした」いつ頃市は知った？

河村：数日前 あんた達と同じじゃないか

毎日：レポートが出来て、専門家が「素晴らしいレポート」
いつ頃できていつ頃石垣部会に諮られたのか

河村：2か月くらい前？
ちょっと違うかな

毎日：石垣の現状 ハラミだしのレポート

河村：どうやって改善していくか やり方について

毎日：10月断念 ここまで遅くなった理由
私たちの取材では石垣部会と議論が進まなかった
石垣部会先生の心証を害した
石垣に対する考え方 根本的に
石垣部会 石垣優先
名古屋市 木造再建優先
大きな開きがありすぎた
建設的なことが出来なかったという方もいる
市長は

河村：どっちも優先じゃないですよ
同時にやることもできる
お城本体はケーソンで受けている
石垣だけでも出来る
7000トン位あると言われている
ものすごく危ない
石垣の内側はわからない
上を解体しないと
そういうこともあってどういう方向に進んでいくか

日本で初めてでしょう 聞いたけど
ここまで石垣を丁寧にするというのは
違ってたらいかんけど
初めてだと
名古屋市は45億竹中の505億の中に石垣の費用入っている
どういうプロセスでやっていくか
どちらが優先というものではない

毎日：議論が進まなかった理由はどう考えるか

河村：ようわからんが、わしだったら毎晩うち行って相談しますわね

毎日：市の担当者の努力不足

河村：そういうと感じ悪いで そうはいつとらん
ネゴシエーションの場合は感情も大きいでね
丁寧にやらないと
毎晩はたらくだわね

記者：ケーソンが使えるかどうか 名古屋城議論されているか
ケーソンは使えるという確信を得ているのか

河村：専門的なことまで知ってはいないが、
今のケーソンでいいだろうということは聞いている
上を解体しないとわからない
どうやってやるんですか

記者：他の専門家の方は大丈夫だと

河村：大丈夫だろうと聞いている
文化庁 江戸時代そのままにするならケーソンありませんからね
熊本城 コンクリートパイル外さないといけない
もともとやっていこう
上解体しないとわからない
みてみるとわからない プロが

記者：文化審議会にかからなかったのが 数日前 そこを詳しく

河村：あまりいいたいが 終わってまったこと

記者：文化庁側から連絡が来た？

河村：議題みたいなのが報告される

文化庁記者クラブ知っているんじゃないか

記者：市独自で得ていくのか

河村：あったかもわからん タイミングが

担当にはあったかもしれない

記者：載らないとわかってはじめて今回断念するということか

河村：まあそういうことでしょう。

それと文石協の話し合いが、向こうの都合もあり

精力的にやる

記者：精力的にやるとは

河村：今後いつ誰が

記者：文石協に行って

河村：文石協にはこないだ行ったと思いますけど

何遍も行きます

わしも行ってもよい

記者：市長も

河村：行ってもいい

自分でやりますわ 本当に 何遍でも行って

とにかく頼むって

こんだけの市民の強烈な民意を実現させるのは仕事だもん

でしょう？

記者：1年半以上前から10月文化審議会の許可を得ると
表明されてきて出来なかったのは大きな問題
市役所 6月議会 スケジュール厳しい
やり取り 時系列にして欲しい

河村：市は全力でやった
石垣のハラミの問題を中心に指摘があり
そのところから解釈を変える
市としての意見を言わないといけない
プロの方にアドバイスを受けて報告書を作成したが、
それでいかなのだったらどうすればよいか教えて下さい
文石協の話しがでた

記者：石垣部会に言われたのか

河村：その人は僕に言った

記者：その人とは石垣部会か

河村：石垣部会ではない。石垣の専門家

記者：石垣部会が文石協を提案したのはいつのことか

河村：石垣部会が文石協 1か月位前じゃないですか？
9月10日 1か月じゃない 年食ってる

記者：石垣部会と非公開と話し合った

河村：いろんなところで話しますわね 当然

記者：市役所の意見は言ったのか

河村：その前に言った。9/10の前に石垣部会に言った
その少し前

いつ頃前か プロが言っている話し
名古屋のことはやらない 45億も予算ついている
こういうふうでなるんだとってた

記者：よくわからない 7月 基本計画案は市の意見ではないか

河村：7月はなんだったか

記者：申請する前に石垣部会に諮ったら、了承を得なかったじゃないですか
基本計画案を
それを出そうとしたが、受け取ってもらえなかった

河村：出したけど受け取ってもらえなかった

記者：市の意見じゃないのか

河村：出したけど受け取ってもらえなかったことはあった

市：石垣部会から意見を受け、グレードアップしようとした

記者：7月の時点で、グレードアップしたものを文化庁は受け取らなかった

市：石垣部会の了解を取れなかった

河村：文化庁が積極的にこれではいかん、といったわけじゃないですよ
言っときますけど

市：石垣部会と協議して

記者：市としての意見を言わないといけん

河村：僕が聞いた

記者：9/10に市としての意見 基本計画とは別の形で言ったのか

市：基本計画 ありましたが、課題を解決するために

その場で協議した

その中で課題があるので総合的に石垣について考えた方が
答えが得られるのではないか

記者：わかりました

グレードアップというのは

市：中身 いろんな調査等やってますので、今もやっている
どうするべきか どういうように評価するか話をした

記者：より石垣の現状について厳しく話しをした

市：詳細に

記者：市の基本的なスタンス 石垣調査の結果

「石垣概ね安定している」結果

石垣部会「劣化は進んでいる」

基本的なスタンス 劣化が進んでいるというスタンスか

河村：どこまで劣化しているかわからんからね

記者：当初は概ね安定している

河村：そう言われていました

記者：今の市のスタンスとしては

市：外観を見てみると、可能性があるという状況

可能性がどの程度なのか、どの程度劣化しているか確認する状況

河村：それをやるためには石垣だけ抜いてやるということはできないんです

だれがみたってわかります

そんな危ない工事が ぽんと抜いて

そんな危ないことは出来ない

CBC：文石協 石垣を保存する協会

市：関係はあるが別組織

CBC：メンバーとしても

河村：文石協は略称だろう
文化財石垣保存技術協議会

CBC：一緒の組織
石垣部会が専門家でありながら、そこにアドバイスを受けないと
いけなくなった一番の理由は

河村：わかりません
いろんな目で見るということではないか

市：先生方と石工、コンサル
コンサルのかたに文化財の保護 アドバイスをもらったらということ

CBC：これまで進んでいなかったのに、何が進むのか

市：「石垣は安定している」→「緊急の脆弱性がある」
新たな認識
石垣保全に関しては、コンサルの意見が必要
助言が得られる

CBC:助言を得られた上で、やらないといけないことが増えることも
工期が一気に進むと言うよりは、余計課題が見えてくることもあるのでは

市：可能性としてはある
いろんな調査 見ていただいて若干アドバイス

CBC:話しが進むという認識か

河村：あんた勝手に延ばすことばかり言っている

CBC:いやいや

河村：名古屋のレポートは素晴らしいですよ。丁寧にやるしかしょうがないがね

CBC：丁寧にやった結果、早まることってありえるのか

河村：そりゃありえますよ。

これははじめてだって言ってますよ。日本中で。

巨大な石垣を

CBC：わかりました

河村：初めてだから、他の建て売りとは違う。

CBC：文石協の組織の持ち方ですが、石垣部会があって、文石協がある。

石垣部会が参画するということか、諮問機関なのかどっちなのか

河村：メンバーがいますから。石垣部会の方で文石協の中で

同時にメンバーになっている人が

CBC:組織のあり方は

河村：相談してどうなるんでしょうか。文石協の皆さんと一緒に考えていくということになるのでは。

市：アドバイスをもらう

石垣部会 こういうところを変えて欲しい

CBC:石垣部会は石垣部会でやるのか

市：石垣部会は石垣部会

対応するときのバックグラウンド ついてやる

河村：向こうさんが一緒にやりましょうという可能性がないわけではない

二度手間になるから

相談していくから 丁寧にやると

CBC:今後文石協と話し合いを持つと言うことか

河村：そうです。そことアドバイスを受けてくれと言われている まずやる

CBC:それを踏まえないとどういう体制づくりをするか意見が分かれているが、固まってないということか

河村：聞いてみないとわからない 石垣部会と文石協と。どうしますか
一緒にやりますかということになるかも

CBC:市長 文石協のアドバイスを得られそうとなったとして、
石垣部会の会合 開けるのか

河村：そりゃ当然といったら怒られますけど
市民の民意があること 文化的なものを作ってくもの なってかなおかしい

CBC:具体的な日程は

河村：日程 入っていない なっていかなおかしい
こんだけ寄付金が集まって、市民の熱い民意があつて
議会も議決して、材木まで
200本ほどの製材に入っているという話し
民意が大きい

市：市長の次の公務があるのであと2分くらい

河村：さっき言ったむかつくというのは取消てちょうよ。何書かれるかわからんとりけして。みんな熱心にやったけど

読売：審議会遅れる 竹中側とはやり取りはあったのか

河村：遅れること

読売：今回の審議会

河村：それはない 今のところは

読売：今後竹中とはどうするのか

河村：相談するしかしょうが無い
どうやってやっていくか

読売：民間企業なので、いつまでなどめどを聞かれると思うが

河村：重要な設定となりますよね
工期の短縮などできんのかいろいろでてくるわけでしょう
今後相談していく
文石協としても、竹中と一緒に、一緒にかどうかわからんけど、同じ業界というか
話し合いが出来ると思うが 相談しながらやると思いますよ

読売：相談する中で短縮は可能だと認識か

河村：それはわからん 聞いてみんと
勝手に言うわけにいかない

読売：期限は死守するとおっしゃった

河村：そりゃできるわ やってもらわんといかん
そういうもんじゃないですか
民意はどうなるのか

読売：作りたいというのは理解しているが
それとは別に、きちんとスケジュールを組んでですね、半年延びるのなら
この工期は半年短く出来るという具体的な考えは

河村：どんだけ延びるかなんか文石協の人と話し合わないとわからん

読売：それが出た上で新たなスケジュールを

河村：そこら辺の所で話し合う
どういうスケジュールか

読売：いずれにせよ期限は死守するとして、工程の見直しはされるのか

河村：そりゃ相談してみないとわからない。建築士じゃないもので

記者：6月議会で厳しいという流れの中で、市長が専門家から話を聞いて「市もきちんと言わないかん」と。そこが出来てなかったという話だと御問ですけど

河村：その認識ではそう

記者：どうして言えないような状態になっていたのか

河村：教えてちょう。何でなんですか

記者：そこが遅れの原因のような気もするが

河村：なんなんですかね 出来んことがあれば夜うちでも行ってですね
来るなど言っても行ってですね、
どうしていかんのですか、と聞く、それならいい それなら

記者：市の職員と石垣部会の信頼関係というかコミュニケーションがうまくいってなかったということか

河村：ようわかりません なんとも
言いにくいこと みんな精一杯やったけど なかなか時期をえなんだ
これではいかんということで、専門家の人と直接電話して、携帯電話に教えてもらって、
ちゃんといわないかんって市から
かくかくしかじかでこうだと
作りましょうと、一緒に作ってくれた
もしいかんかったらどうすればいい
ほったらかしにするわけにはいかん
そうしたら文石協の話しができた
丁寧やっていくと

記者：石垣の保全をしながら木造工事をするとおっしゃったが、
石垣部会はけしからん、まず石垣の保全を終わらした上での上物だと言うことで、
その意見が割れていると思うんですね

河村：割れとらん まずとにかく解体しないと石垣のチェックも出来ん

記者：解体も、着工も

河村：やってみんとわからん、たぶん

そこらへんも文石協の人 僕より詳しい人も来る
俺は人生 70 年の中で石垣を積んだことは一遍もない

記者：文石協がまず石垣を保全しなさいと、着工はその後ですよ、といわれたら
従うつもりですか？

河村：そんなことおみやーさんいまごろいってっても
延ばすことばっかいつってどうするんだということ
それは交渉はしますよ当然
よくやったら 20 年かかるという説もある

記者：延ばせと言ったら

河村：それはないでしょう
日本中そうなっちゃいますよ
まず石垣を調査して、それから上を作りなさい

記者：それが文化庁の姿勢なら仕方ないんじゃないですか

河村：それはないと思いますやっぱり
市民の皆さんの気持ちもあるでね
ちゃんと相談して丁寧にやっていくと
市民の熱い民意をかなえると
市民の皆さまの木造復元に対する熱い民意をかなえると
世界のためにと、
名古屋のためじゃない、世界のためですよ本当に

市：時間の都合で市政以外の質問はなしで
今日はありがとうございます。